



# 昭和大学江東豊洲病院だより

2020年2月号

第70号

## 巻頭言 耳鼻咽喉科 もり ともあき 森 智昭

春の陽気が待ち遠しい今日この頃ではありますが、暖くなるにつれてスギ花粉症の時期も近づいてきます。今年の関東地方におけるスギ花粉の飛散開始は2月中旬と予想されています。花粉飛散量に関しては、関東地方では昨年に比べてやや少なくなる見込みです。



花粉症治療の第一歩は抗原の除去・回避です。マスク・眼鏡・ゴーグルの着用がよく知られた防御策ですが、近年は鼻洗浄や空気清浄機を利用される方も増えてきました。ただし、抗原の除去・回避だけで花粉症症状を緩和させることは容易ではありません。2014年に日本国内でも舌下免疫療法が導入されましたが、治療が長期に及ぶこともあり、薬による治療が広く行われていることに変わりはありません。第二世代抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、鼻噴霧用ステロイド、抗アレルギー点眼薬がよく使われますが、特に花粉症患者の約9割に処方されている第二世代抗ヒスタミン薬は種類も多く、効果、眠気などの副作用、用法・用量、剤形なども薬によって異なります。医師にご自身が求めるニーズをしっかりと伝えて、最も合った薬を処方してもらうことが重要です。市販されている点鼻用血管収縮薬や鼻噴霧用以外のステロイドの使用は、副作用を考えて極力避けるようにしましょう。

当院では難治性鼻炎の方に対してレーザー治療や手術治療（鼻中隔矯正術・下鼻甲介手術・後鼻神経切断術）を積極的に行っています。レーザー治療のみであれば日帰りで行うことができますが、手術治療を行う場合は入院が必要になります。手術適応はそれぞれ異なりますので、薬の効果が乏しく鼻症状でお困りの方は、ぜひ耳鼻咽喉科外来にご相談いただければ幸いです。



昭和大学江東豊洲病院

### 第70号のトピックス

- 巻頭言（耳鼻咽喉科）
- 認定看護師紹介
- 『東京都特定給食施設等栄養改善知事賞』の受賞について
- 院内コンサートを開催します
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

## 認定看護師紹介

### 認定看護師について

「認定看護師」とは特定分野における専門家として日本看護協会に認定された看護資格で、臨床現場におけるエキスパートです。高度な知識と技術で患者さんへの質の高い看護の提供や、看護実践を通して後輩指導などの役割も期待されています。

### 救急看護認定看護師 篠原 大輔

看護師に認定看護師という役割を持つスタッフがいることをご存知でしょうか。「知識と経験を融合した高い看護実践力を有し、特定分野において質の高い看護ケアを提供する」ことを目指し、31分野の認定看護師がそれぞれの専門性を生かし活躍しています。私は、救急看護分野の認定看護師で、患者さんが急変した際の迅速な救命処置、危機状況にある患者さんやご家族に対しての支援などを行います。現在は主に、職員の皆さんに対して心肺蘇生の技術指導を行っています。救命の現場では、特定のスタッフだけが蘇生処置を行っても救うことができません。病院内で働く全てのスタッフが倒れている方の発見者となり迅速な処置を実施できる必要があります。そのために、指導現場においても様々な職種のスタッフが集まり、コミュニケーションをとり合って学びを深めています。病院を利用する全ての方が安心していただける環境を目指し、スタッフが一丸となれるような取り組みだと思っています。



写真：篠原看護師による心肺蘇生の技術指導の様子

今年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。この大きなイベントに向けて医療サポートが最大限に提供できるよう、病院一丸となって取り組んでいきます。認定看護師としてスタッフサポートを行い、地域の皆様が安心してオリンピック開催を迎えられるよう、万全の準備を進めていきたいと思っています。

### 皮膚・排泄ケア認定看護師 中島 聡子

皮膚・排泄ケア認定看護師は、皮膚や排泄に関わる看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践を行う役割があり、主に以下の活動を行っています。

- ① 創傷の治癒を促進するケア及び皮膚トラブルや創傷の予防  
(例：創傷や褥瘡(床ずれ)の予防・ケア方法の指導、療養環境の調整や治療材料の選択、栄養状態などのアドバイス)
- ② ストーマ(人工肛門・人工膀胱)のケア  
(例：ストーマの管理、装具の選択、日常生活へのアドバイス、精神的サポートなど)
- ③ 便や尿失禁に伴う機能の改善や日常生活をサポートするケア  
(例：失禁による皮膚トラブル予防やトラブルによる苦痛を最小限にするケア、ケア用品の選択、機能改善及び日常生活のアドバイスなど)

また、現在は皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を活かし、『特定行為研修』に参加しています。研修修了後はあらかじめ医師から示された病状の範囲内であれば、これまで医師のみが行っていた処置(特定行為)の一部の実施が可能となります。例えば、治りにくい傷に対する専門的な処置も、患者さんの病状が指示の範囲内であれば、医師を待たずにタイムリーに処置が行えるようになります。難易度の高い行為に対する安全性を担保しながら、チーム医療における看護師の役割拡大を図っていききたいと思います。

## 「東京都特定給食施設等栄養改善知事賞」を受賞しました

栄養科 <sup>かもしだ</sup>鴨志田 <sup>きょうこ</sup>恭子

この度、令和元年度「東京都特定給食施設等栄養改善知事賞」を受賞しました。この賞は、東京都が毎年都民の健康の保持増進に著しく寄与した優良な給食施設に対して授与するものです。

審査の項目は、栄養指導の実施状況・NST 活動・入院患者さんへの給食の配慮（豊富な食種、行事食、祝い膳、選択食、嗜好調査、満足度調査）・調査研究活動・給食栄養管理面の改善状況・災害対策・地域貢献など多岐にわたります。

栄養指導については、入院・外来の個人指導と集団指導を行っており、個人指導は土日祝日も対応しているため、平日に来院できない患者さんやご家族には好評です。また、集団指導は糖尿病と妊婦さんへの指導を行っています。NST 活動では、入院された全患者さんの栄養管理計画書を作成し、適切な栄養量がオーダーされているかを確認しています。特に栄養状態の悪い患者さんについては、毎週リハビリテーション科の医師を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士がチームで回診を行い、栄養状態の改善を検討しています。

給食栄養管理面での改善状況では、当院の給食はニュークックチルシステムを導入しております。これは給食を、提供する数日前に調理し、3℃のチルド状態で保存したものを器に盛り、再加熱ができる配膳車で100℃で40分、70℃で20分の加熱後患者さんに配膳するというものです。開院から数ヶ月後からご飯の表面が乾燥するようになり、患者さんからのご意見でも主食の乾燥が目立つとのコメントが増えました。そこで、炊飯方法を替えることでご飯の乾燥を改善することができました。

また、嚥下機能が低下している患者さんの食事では、お粥は誤嚥のリスクが高いため、ゼリー状態にしたお粥を提供していますが、ゼリー状態にできるとろみ剤がなかったために、冷たい状態での提供を余儀なくされてきました。3年前に熱に強いとろみ剤が発売されたのを契機に温かいゼリー粥が提供出来るようになりました。こういった努力が認められ、賞をいただくことができました。

今後も患者さんのために栄養管理面、給食管理面の両輪で医療に貢献したいと考えております。



栄養科スタッフ

中央：鴨志田 恭子 係長

## 院内コンサートを開催します

2月29日（土）15時より、当院研修医・西村 公太による院内コンサートを開催します。

ご興味のある方は、ぜひ1F タリーズにお越しください。



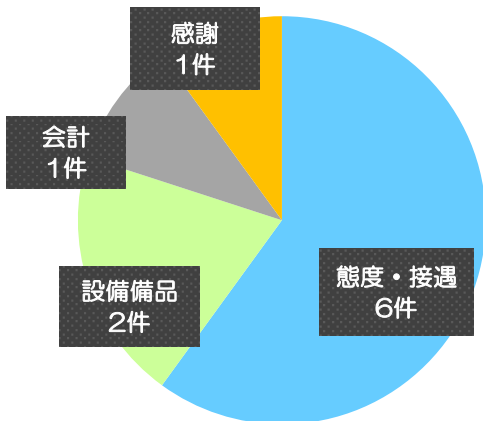
※前回の写真（西村公太研修医）



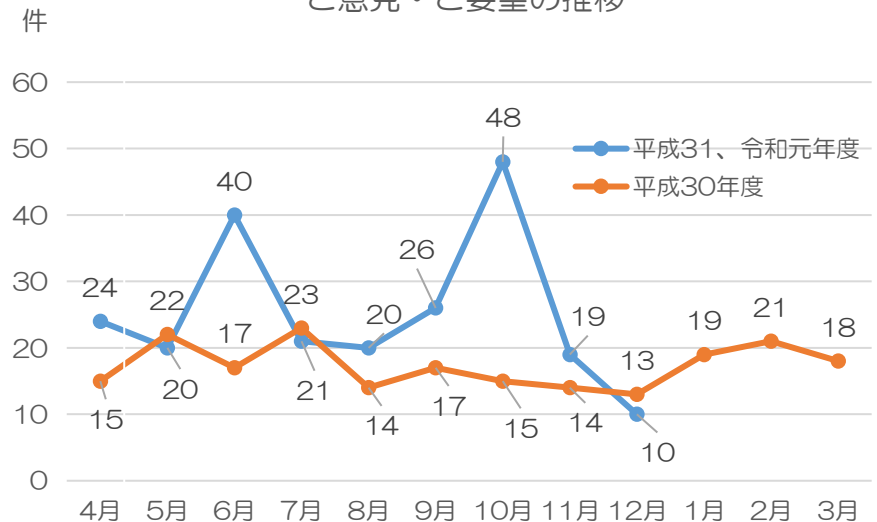
## 「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>大部屋の患者や家族に携帯電話をマナーモードに設定するように徹底してほしい。説明を聞いていて「分かりました」と答えていても、ほとんどの方が守れていないので、説明時にマナーモードになっているかの確認までしてほしい。</p>	<p>携帯電話の使用については入院時にご説明をし、ご理解とご協力をお願いしております。入院後に使用されている場合はその都度注意させていただいておりますが、確認に不足があったことでご迷惑をおかけしました。今後も病室の巡視の際には、留意してまいります。お気づきの点がございましたら遠慮なくお話しください。ご協力いただけない方へのお願いを強化してまいります。また、面会の申し出の際など、マナーモードへの変更をお願いするよう努めてまいります。 回答部署：看護部</p>
ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>本当にお世話になりました。皆さんのお仕事を見ていると頭が下がります。元気な人だけが気がつくことかもしれませんが、ベッド周りのカーテンを開けてしっかり閉めてくれない方が多いです。忙しくてそこまで気が回らないのかもしれない。</p>	<p>病室のカーテンの開閉についてご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。プライバシー保護の観点から、カーテンの開閉に際し、細心の注意を払うよう再度周知いたします。療養環境を整えることも私たちの役割のひとつですので、患者さんにとってその空間が快適で過ごしやすいものとなるよう、今後も留意してまいります。 回答部署：看護部</p>

令和元年12月分  
ご意見・要望の内訳  
総件数10件



ご意見・ご要望の推移



編集後記 副院長 かみじょう ゆみ 上條 由美

寒い日にマラソンをしている人をみかけると、応援したくなります。今年の東京マラソンは3月1日です。東京マラソンは2007年からスタートして以来、今年で14回目となります。2017年にゴール地点が東京駅に変更されるまでは、旧豊洲病院の前がコースとなっていたために、当院の看護師や理学療法士がボランティアで参加していました。これは当時、旧豊洲病院で勤務なさっていた、片岡喜直先生(現、晴海クリニック院長)が中心となって企画してくださいました。東京マラソンは、ランナーが最高のパフォーマンスができるように多くのボランティアがサポートしています。東京オリンピック・パラリンピック大会でもボランティアが活躍して、成功することを祈ります。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>  
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38  
TEL03-6204-6000(代表)  
発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院  
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital